

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

夜を彩る温かく感傷的なメロデー。
胸いつぱいに広がる満天の星空。

二人の名匠が、得意の名曲を披露!

Sibelius & Chopin



©Wataru Nishida

日本を代表する実力派ピアニスト
深みの増した境地でショパンを弾く!

ピアノ=**小山 実稚恵**

Piano: Michie Koyama



©Marco Borggreve

シベリウスを得意とするフィンランドの名匠

指揮=**ヨーン・ストルゴーズ**

Conductor: John Storgårds

アレサンドレスク: 秋の黄昏時

ALESSANDRESCU: Autumn Twilight

ショパン: ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11

CHOPIN: Piano Concerto No. 1 in E minor, op. 11

シベリウス: 交響曲 第2番 二長調 作品43

SIBELIUS: Symphony No. 2 in D major, op. 43

読売日本交響楽団 第614回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 614

2018年 **8月30日** (木) **19時** 開演 **サントリーホール**
Thursday, 30th August 2018 19:00 / Suntory Hall

¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 **C ¥1,000**

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター **0570-00-4390**

<https://yomikyo.or.jp/>

(10時~18時・年中無休)

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

二人の名匠が誘う華麗な響き

北欧の名匠が同郷のシベリウスの代表作を振り、ショパンを得意とする日本を代表するピアニストがその傑作を弾く。二人の名匠の真価が、最も発揮されるプログラムが並んだ。

深い緑が続く広大な森と、青く清らかに輝く無数の湖。20世紀の偉大な作曲家シベリウスは、この雄大な自然を誇るフィンランドに生まれた。彼の交響曲の中で最も人気が高いのが今回メインに演奏する第2番であり、故郷・北欧の自然を思わせるスケールの大きさと、透明感のある響きが聴く者を引きつけてやまない。一方で、ロシアの圧政に苦しむ国民を鼓舞した不屈の精神や内に秘めた激情を感じさせることも、この名曲の大きな魅力だ。実際、金管楽器が力強く鳴り響く壮麗なフィナーレには、抑えがたいほどの感動と高揚感が湧き上がってくる。

タクトを振るストルゴーズは同じくフィンランドの出身で、この作品を最も得意としている。2016年のニューヨーク・フィルへのデビューでもこの曲をメインとして取り上げ、オーケストラを「センセーショナルに響かせた」とニューヨーク・タイムズ紙で絶賛された。シベリウス演奏の第一人者と称される名匠は、今回もかの地を思わせる壮大な世界を築き上げるだろう。

前半のショパンの傑作協奏曲では、日本を代表するピアニストの小山実稚恵が共演。日本人で初めて、チャイコフスキー国際コンクールとショパン国際ピアノコンクールという二大コンクールにおいて入賞を果たした名手で、入賞後も30年以上にわたりショパンをライフワークとして弾き続けている。その豊富な経験に裏付けられた、確信に満ちた演奏に期待が膨らむ。変幻自在の多彩な音色や、激しさと繊細さをあわせもつ練達の表現力に注目したい。

コンサートの冒頭を飾るのは、指揮者としても活躍したルーマニアの作曲家アレクサンドレスクの「秋の黄昏時」。弦楽合奏のための叙情的な曲で、彼が17歳のときに書かれた作品。瑞々しい感性がとらえた美しさをご堪能いただきたい。

Sibelius & Chopin

ジョン・ストルゴーズ (指揮)

John Storgårds, Conductor

故国フィンランドの音楽を、クリエイティブな才能で今に伝える名匠。スウェーデン放送響でコンサートマスターとして活躍した後に、指揮者としてのキャリアを開始した。2008年から15年までヘルシンキ・フィルの首席指揮者を務め、現在はBBCフィルの首席客演指揮者、カナダのオタワ国立芸術センター管の首席客演指揮者などの任にある。これまでに、ベルリン放送響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ボストン響、フランス放送フィル、BBC響、パーミンガム市響、クレーヴランド管、バンベルク響などに客演したほか、オペラでもフィンランド国立歌劇場などで活躍している。北欧の作曲家を中心にサーリアホ、コリリアーノら現代作品まで幅広いレパートリーを持ち、録音も多数行っている。

©Marco Borggreve

小山 実稚恵 (ピアノ)

Michie Koyama, Piano

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、協奏曲、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。国内の主要楽団はもとより、モスクワ放送響、ロイヤル・フィル、BBC響、ベルリン響、シンフォニア・ヴァルソヴィア、モントリオール響などと共演しており、フェドセーエフ、デミルカーノフ、マリナー、小澤征爾ら巨匠との共演も数多い。2011年の東日本大震災以降、被災地で演奏を行っており、15年夏より自ら企画立案したプロジェクトを進めている。CDはソニーからリリースしており、30枚目となる最新盤は「パッサ：ゴルトベルク変奏曲」。



©Wataru Nishida

読売日本交響楽団 第614回 名曲シリーズ

2018年 **8月30日** (木) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C **500円**

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

●学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

■都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyoku.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017